

1. 背景・目的

下水道管路施設の老朽化が加速的に進んでいくなか、適正で安全な維持管理は喫緊の課題であるが、一方で必要な費用や人材をどうするかという課題を抱えている。

本業務は、下水道管路の維持管理に必要な複数業務をパッケージ化および複数年契約とすることで、業務の効率化及び質の向上を実現し、市民サービスの向上を図るほか、スケールメリットを活かし、発注コストの圧縮を図るものである。

また、合わせて民間委託モニタリング業務を実施し、適正な業務遂行ができてきているかの履行確認や評価を行い、業務改善を繰り返すことで、さらなるサービス及び品質の向上を図るほか、次期スキームの検討も合わせて実施するもの。

2. 概要

【名称】：下水道管路施設維持管理業務包括的民間委託

【期間】：令和9年4月1日～令和19年3月31日（10か年）

【予算】：10,735,000千円（債務負担）

【場所】：中央区、東区

- 【業務】：①統括管理業務 ⇒各業務を統括、進捗管理、改善提案
 ②維持管理業務 ⇒受付→現地調査→各種対応（清掃、害虫駆除、修繕等、定期点検等）
 ③改築業務 ⇒老朽化管路の改築・更新
 （※性能発注及びプロフィットシェア導入）

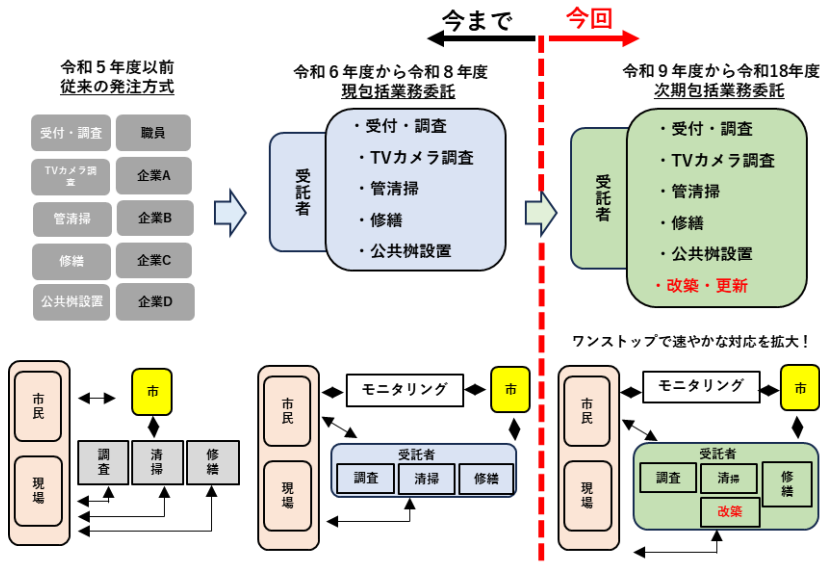
【名称】：下水道管路施設維持管理業務包括的民間委託モニタリング業務委託

【期間】：令和9年4月1日～令和19年3月31日（10か年）

【予算】：201,000千円（債務負担）

【業務】：業務の履行確認及び評価、次期スキームの検討

3. 委託のイメージ



4. 包括的民間委託の効果

- 現在**
- ①お客様サービスの向上
⇒ 定型的な業務は受託者がワンストップで速やかに対応
 - ②道路陥没等への迅速な対応（事故リスクの軽減）
⇒ 通報から現場到着まで約30分
 - ③一括発注によるスケールメリットの発現
⇒ 複数業務を複数年契約することでコストを圧縮
- 次期包括的民間委託では、さらに効果を拡大するために

拡大

業務の拡大内容とメリット

①【期間】10年（現在は3年）

【効果】受託者：長期契約をすることで人的及び物的投資が可能となり、安定的な事業運営ができる。業務期間内で経験及びデータを蓄積でき、業務が効率化できる。
 発注者：受託者が安定的で効率的な事業運営を行うことで、お客様サービスの向上や事リスクの軽減が期待できる。事業規模が大きくなることで発注時の費用を圧縮できる。

②【場所】中央区、東区（現在は中央区のみ）

【効果】・布設年度が古く、陥没や住民対応等も多い東区を拡充することで、お客様サービスの向上と事故等へのリスクの軽減を図る。
 ・合流区域を合わせて管理することで、雨天時の対応を強化する。

③【業務】施設の改築・更新を追加

【効果】・異常発見時の対応として、すでに実施している施設の修繕に改築を加えることで、対応の幅が広がり、より効果的な維持管理が実施できる。

5. スケジュール

期間	令和8年度												
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
下水道管路施設維持管理業務包括的民間委託	マーケティング	・公告 ・入札 ・受託者の決定										新規受託者への引き継ぎ	
同モニタリング業務委託											・公告 ・入札 ・受託者の決定		